

香川県明るい選挙推進協議会 会議録

- 1 開催日時 令和4年11月17日(木) 15:00～15:45
- 2 開催場所 香川県庁本館12階 大会議室
- 3 出席委員 武重会長、西川副会長、相川委員、井上委員、海津委員
近藤委員、津山委員、中橋委員(15名中8名出席)
- 4 傍聴者 なし

5 議事概要

(1) 統一地方選挙における臨時啓発事業計画について

①事務局説明

議案について、事務局から説明。

②質疑応答

<委員> 前回の知事選の際も、今回同様に子育て世代に関する啓発が盛り込まれていたが、どのような啓発を行ったか。

<事務局> 前回の知事選では、親子連れ投票のチラシを子育て世代に配布した。

<委員> 前回の知事選で立会人を務めたが、候補者の個々の主義主張が見えていないまま、投票に来る方が多いと感じた。特に、選挙公報が一定期間配布されないために、配布前に期日前投票に来た方が、投票所で候補者に関する質問をする事例があった。このことから、選挙の内容や、候補者の個々の主張が見える場所があった方がよいのではないか。

<事務局> 早めの選挙公報の配布は、課題であると認識している。選挙公報の原稿は告示日翌日までの締め切りであり、その後、期日前投票が始まっている中、印刷をし、市町選挙管理委員会へ引き渡し、各家庭に配布されている。県としては、このタイムラグを極力解消するために、配布主体である各市町選挙管理委員会に対して、早期配布をお願いしている。また、県選挙管理委員会ホームページでも選挙公報を掲載しており、ネットで閲覧できるようにしている。これは、今後も継続したいと考えている。

なお、明るい選挙の推進という観点で、候補者個々の主義主張の周知は、県選挙管理委員会として望むところではなく、各陣営において、主張し合うことが望まれている。そのため、県選挙管理委員会としては、各候補者の主義主張の発信とは一定の距離をとるが、選挙公報は速やかに配布していきたい。

<委員> 立候補者全員に同じ質問票を送り、その回答をもとに、候補者ごとの賛成や反対など、客観的な判断基準になるようなものを出している学生グループや子育て団体もあるが、そのようなものがあるとわかりやすいと思う。啓発の代理店が、主になっていたり、代理店から依頼してしたりということではできないのか。

もう一点、数年前の選挙の際に、個人で行った活動であり、大きな広がりにはならなかったが、「I vote」という、選挙に行くと貰えるバッジをつけて、対象店舗で商品を購入するとおまけが貰えるという活動があった。また、SNSの自分のアイコンの部分を香川県のマークとI voteのマークにできるものを無料配布し、選挙に行ったことをアピールできるキャンペーンを個人的にされている方がいた。そういった活動は若者にキャッチーで、よいのではないかと思う。そのような個人の活動と県の啓発活動が繋がればよいと思う。

最後に、選挙に行ってもらうための動機付けが大切であると考えている。例えば、投票箱を県産品である漆器で作成するなどすれば、話題にも上がり県産品のPRにもなり、面白いのではないか。

<事務局> 一点目は、公平な選挙、明るい選挙の推進という観点から、事業者や団体によって偏りができる可能性があり難しい。

二点目の「I vote」等の投票の動機付けのところ、自治体によっては投票証明書などを発行し、商店街などで特典を受け取ることができるなどの活動があるが、予算等の都合もあるため、他事例を収集しつつ引き続き検討したい。

最後に、三点目の投票箱であるが、こちらは法令で規格が決まっているため難しいが、例えば、漆の投票箱をオブジェとして置いておくなどであれば話題性には繋がると思うので、実現の可能性を含めて検討したいと思う。

③表決

全員異議なく、原案のとおり承認された。

(2) その他

①事務局説明

今後の協議会日程、及び会議資料・会議録の公表について事務局から説明

②質疑応答

なし、全員了承。

閉会